

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日： 令和 7年 3月 1日

事業所名：ヴェール遊々クラブ

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	物の配置場所、整理整頓をし、出来る限りのスペースを確保し、学習スペースを分けるなど行っている。	はい、とする意見が多いが人数が増え、狭く感じてしまうという意見もある。	基本的な広さを変える事はできないが、人数に応じて第二教室等も考えている。
	2	職員の適切な配置	日々の利用人数、利用者の特性を踏まえたうえで適切な人員を配置している。	配置数は適切であるとする意見が多いが、専門性が感じられない、という意見もある。	今後も勉強会や研修などでスタッフの専門性を高め、保護者の方々に知って頂く様、務める。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	視覚的な理解力にたけた子供のための絵カードや単語カードなどを設置したり、過ごしやすい配慮を行っている。	はい、とする意見が多数。	現状を継続する。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日の業務終了後の清掃・消毒を行い、過ごしやすい清潔な環境づくりに努めている。	はい、とする意見が多数。	清潔で過ごしやすい生活空間の維持に努める。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	定期的な会議と日々の出来事の振り返りを行っている。		現状を継続する。
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	相談支援専門員の方、市の職員の方による評価、助言をいただいている。		神戸市職員の方の評価を基にして、業務改善に取り組む。
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	今年度においては、研修機会などの提供、確保には至らなかった。		有効、有用性のある研修を確保する。
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	定期的な面談を行い、保護者、子どもそれぞれのニーズをこまめに把握した上で分析・立案・作成を行っている。	はい、どちらとも言えないとする意見が多数。	現在のプロセスを継続して行う。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもの特性、状況をしっかりと分析したうえで、適切な活動を考案し、計画に落とし込んでいる。		現状を維持する。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	具体的な支援の方法を明記している。		より具体的に保護者に伝わる様、務める。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	スタッフ全員に対し、計画の周知を徹底して行い、それぞれが計画に沿った適切な支援を実行している。	適切である、とする意見が多数。	現状を継続する。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	プログラム立案担当を複数名立てて、全体での考案・立案を行っている。	プログラムに関しては、はい、とする意見が多数。	職員同士での情報の交換・共有に努める。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日・土曜日・長期休暇それぞれの特徴に合わせたプログラム活動など、適切な支援を行っている。		現状を維持する。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	プログラム立案担当者が固定化されないように担当を分けて行っている。		立案担当者だけに頼ることなく、全体での考案に努める。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	その日のスタッフ配置、役割分担を確認、考慮の上で支援を行っている。		現状を継続する。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	送迎終了後、その日の出来事などを報告し合ってうえで、振り返りと話し合いを行っている。		現状を継続する。
	10	日々の支援についての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	保護者への連絡帳や日報にて毎日行っている。		現状維持に努める。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	年に2回程度の定期的なモニタリングにより振り返りを実施し、計画の見直しを行っている。		現在のプロセスを維持する。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	サービス担当者会議の頻度が少なく、参加する機会が得られなかったが、学校の教員の方との情報共有などは行っている。		状況に応じて担当者会議への参画を検討する。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	医療的ケアが必要な子どもはお預かりしていない。		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	同上		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	できる限りの情報提供、共有を行っている。		現状維持に努める。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	卒業時の情報提供を十分に行っている。		現状維持に努める。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	今年度は各種専門機関との連携・研修受講は出来ていなかった。		有効、有用性のある研修を確保する。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	健常児との交流の機会は、特に設けていない。	いいえ、とする意見が多数ではあるが、交流が多いと子どもの負担になるので、学校内での交流だけで充分との意見もある。	他の放課後等デイサービスとの交流も検討している。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	クリスマス会など特定のイベント開催時に、招待を行っている。		イベント開催時の地域住民の招待を積極的に増やしていく。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	見学时・契約時など十分な説明を行っている。	はい、とする意見が多数。	現状を維持し、わかりやすい説明に努める。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	定期的な保護者面談、モニタリング時など十分な説明を行っている。	はい、とする意見が多数。	十分な説明を継続する。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ペアレントトレーニングは行っていない。	いいえ、わからないとする意見が多い。	ペアレントトレーニングは考えていない。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時や連絡帳等、日々の様子などを共有する中で共通の理解を深めている。	はい、とする意見が多いが一部のスタッフだけからの連絡しか無いという意見もある。	送迎時などにすべてのスタッフが保護者と関わるように努める。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	相談をいただいた場合には、適切なアドバイスなどを行っている。	はい、とする意見が多数。	現状を維持する。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	必要のある場合には、十分な説明と適切な対応を行っている。	いいえ、どちらともいえない、とする意見が多数。	要望があれば保護者会などを開催したい。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情があった場合には、迅速・適切な対応を行っている。	苦情をいただくケースが極めて少なく、どちらともいえない、とされる方が多数。	スタッフ同士の情報共有を徹底し迅速に対応するように心がけていく。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	絵カードなど、視覚的な情報伝達ができる体制を整えている。	はい、とする意見が多数。	現状を維持する。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	月に一回程度の会報により、発信を行っている。	はい、とする意見が多数。	現状を維持する。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報の取扱いには、十分な配慮を行っている。	はい、とする意見が多数。	現状を維持する。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各種マニュアルの策定は行っているいるが保護者への通知が完璧ではない。	いいえとする意見が多数あり。説明があると助かるという意見もある。	契約時にもしっかりと保護者と共有し、定期的に通知も行っていきたい。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	定期的な避難訓練を行っている。	わからないとする意見が多い。	避難訓練の頻度については会議等の議題に加え、考慮する。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	定期的な虐待防止研修の機会を設けている。		現状を継続する。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	必要のある場合には、十分な説明と適切な対応を行っている。		現在の体制を継続する。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	アレルギーに対する十分な理解を深め、適切な対応を常に行えるよう、学習・研修の機会を設けている。		職員一人一人がアレルギーに対する理解を深められるよう努める。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット、事故報告など、事業所内での情報共有を行っている。		現状を継続する。